

## 2015年度 第2回強化審判員研修会を開催

2015年度第2回強化審判員研修会を12月13日に岩沼市総合体育館で開催しました。

強化審判員研修会は2014年度より継続して実施している研修会で今回で4回目の開催となります。

この研修会は県内の若手審判員の強化を図りながら1級審判員の輩出、県内で開催されるトップレベルのゲームを担当できる審判員の技術向上を目的とした研修会です。

総勢20名の参加審判員、インストラクターは2016年のシーズンに向けて充実した研修ができました。

### 主な研修の内容

- 1) 2015年度の振り返り、資質向上(壁を乗り越えるために)
- 2) Players Management
- 3) 資質向上プレゼン(学ぶという事、マンション傾斜問題から考える)
- 4) 2014・2015年強化研修会振り返り(判定基準、ポジショニング)
- 5) Learning Moduls(FIFA教材)を使用した判定基準のすり合わせと確認
- 6) 審判員によるプレゼン テーマ:ノーマルフットボールコンタクト
- 7) まとめ、振り返り



#### ●Players Management

鮎貝INSによる、Players Managementに必要な要素を、予め決められた10個の要素を重要度の高い順にピラミット型に並べていく作業をチームに分かれて行い、グループ毎にコンセプトの発表を行った。他のチームの考え方を聞く事も出来き有意義なセッションであった。



#### ●資質向上

加藤審判員長、木口INS、大平INSが審判員の資質向上を目的としプレゼンを実施。参加INSの方の事前準備が素晴らしく、サッカーの審判以外の話から多くの事を学ぶ事が出来た。



### ●Lerning Modulsを使用したの判定基準の確認

西村PRによる2014～15年度に行った研修会の「判定基準(見極め)とポジショニング」について振り返りを行った後に、Lerning Modulsを使用したの判定基準の確認を行った。判定で「ノーファウル」「不用意なファウル」「無謀なファウル」「過剰なファウル」を4つのゾーンに分けての判定トレーニングを繰り返し行った。



### ●審判員によるプレゼン

参加審判員に「ノーマルフットボールコンタクト」について事前テーマを与え、3人がプレゼンを行った。フェアでスピーディーでタフなゲームを進めていくうえで欠かすことのできない「ノーマルフットボールコンタクトの見極め」について理解を深めた。

## 加藤委員長、参加審判員コメント

### ●加藤 勝 審判委員長コメント

2015年第2回強化研修会が関係者皆様のご協力により、充実した内容で開催できましたこととお礼申し上げます。継続的に開催している研修会ですが、少しずつ成果が表れ始めており、回を重ねる毎に理解度は上がっていると感じています。また、上級審判員を受験する者も出てきており活躍を期待しているところです。今後も、この研修会を継続的に開催し若手審判員を中心に宮城県内の審判レベルの向上のため、様々なプログラムを取り入れ一人でも多く上級審判員に育てられるよう審判委員会でサポートしていきたいと考えています。大変お疲れ様でした。

### ●川原 雅之 審判員コメント

2015年最後の強化研修会は、主に判定基準の見極めやplayer's management、資質向上、審判員によるプレゼンテーションの4つのセッションでの研修でした。その中でも判定基準の見極めは昨年から取り組んでおりスピーディーでタフな現代サッカーにおいて非常に重要な項目です。今回は映像を見ながらその事象がノーファウルなのか、不用意なファウルなのか、無謀なファウルなのか、過剰な力を用いたファウルなのかを見極めるコンセプトを学びました。その他、グループディスカッションをしたり審判員としてどうあるべきかを再確認することができ有意義な研修会となりました。インストラクターの方々には毎回のように素晴らしい研修会を準備していただき感謝しております。

### ●塚原 健 審判員コメント

資質向上、マネージメント、判定基準を学ぶことができ、2015シーズンの自分と比べながら研修をできたと感じています。

特に判定基準は今年の春にも研修会で教わりましたが、シーズン中のレフリングはシーンを記憶して判定している場合があります。判定基準はシーンではなく本質を見極めることが大事だと今回学ぶことができましたので、これからも本質をもっと向上していき、正確な判定基準というものを持てるようになりたいです。今回、お忙しい中大変貴重な研修会を開いて頂きありがとうございました。

2016シーズンは「意志」と「覚悟」をしっかり持ち、審判活動に励んでいきたいと思います。